



真夏を思わせる日差しが照り付けたかと思うと長引く梅雨寒で気温が上がらない日が多くあり、保護者の皆様も、日々、お子様の健康状態に気を使われていることと存じます。今年は、新型コロナウイルス感染症予防のために普段からマスクを着用しての生活が続いており、エアコンのない室内や外出時など、熱中症にはくれぐれも注意したいところです。学校では、エアコンと保護者の皆様から寄贈していただいた扇風機とを併用し、子どもたちは心地よい空間で学習に励んでいます。しかしながら、感染症予防、熱中症対策、コロナ禍での学習形態の工夫など課題も尽きません。そういった状況ですが、子どもたちは、新しい生活様式にも慣れ、数々の制約がある中でも、仲間と共に学習できる喜びをかみしめながら前向きな気持ちで勉学に励んでいます。

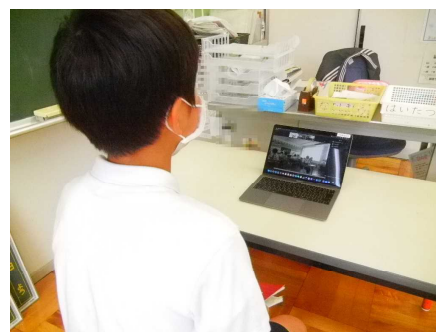
創意工夫と前向きな努力 ・ 変化は成長のチャンス

さて、コロナ禍になる前の私たちの生活は、「これがあれば効果的、利便性がよい」と感じたモノ、コトを容易に取り入れる生活様式でした。無くて特に困らないモノやコトでも、人は一旦手に入れてしまうとそれが無い生活は不便やめんどろという気持ちが先にたち、「できない」、「やらない」という選択肢を選びがちです。しかし、今回のコロナ禍は、その「できない」環境の中で、「どうやったらできるか」を考えた人は少なくないと思います。子どもたちの発想は柔軟で、大人の発想を超えることもあります。

先日、6年生の子どもたちが、色別縦割り班活動を進めていくためにZOOMを使ったオンラインで縦割り班活動の集会を行いました。また、各色のリーダーの紹介や意気込みを語ったメッセージ動画も配信しました。そのあと、折り染めをした和紙に全校児童が今年の目標を書き、それを6年生が集約して大きな掲示物を作成しました。集会活動ができない中、知恵を絞り、学校のリーダーとして活躍する姿に感動しました。

また、児童会による自治的な活動も精力的に取り組んでいます。児童集会もオンラインで、各委員長が堂々と活動報告をしています。健康委員会では、ソーシャルディスタンスをとるためにフットラインの貼り替えや掲示物を作成し感染予防を呼びかけています。さらに、給食や体育の授業などにはずしたマスクを一時保管するためのマスクケースを6年生が手作りして、全校児童にプレゼントとして配布しました。

できないことを口にするより、どうしたらできるかを考えることで、創意工夫が生まれ、「変化」することで新しくできることが増えてきます。子どもたちは、柔軟な発想で、変化する社会に対応する資質能力を身につけています。新たな変化に適応していくことは、これからの予測不能な未来社会をたくましく生きていく力の大きな要素です。変化は成長のチャンスととらえ、前向きな気持ちでチャレンジする子であってほしいと願っています。



【オンライン児童集会】



【マスクケース作り（6年生）】

低学年下校ボランティア(民生委員・令和の会・地域ボランティアの皆さん)

例年は、7月21日～8月31日までは、夏休み期間であります。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る緊急事態宣言発令に伴う臨時休校期間があり、授業数補完のために夏休みを短縮し、暑い時期に学校に通うこととなります。

そこで、下校中の児童の熱中症等の症状の早期発見と交通安全の指導のため、民生委員の皆さんと令和の会の皆さんにご協力いただき、低学年児童の下校を見守っていただいております。また、警察署の方々にも子どもの登下校中の組織的なパトロールを依頼しております。登校時においても、PTAや交通指導員、地域のボランティア、民生委員・令和の会の皆さん、各事業所の皆様にも挨拶かけ運動をしながら、子どもたちの安全を見守っていただいております。このように地域ぐるみで、子どもたちのためにいろいろな面でご支援いただいていることに感謝しております。



校舎内の消毒ボランティア(高浜町婦人福祉協議会)

「児童の安心・安全、通常と異なる授業対応や感染予防対策に追われる教職員の負担の軽減に、少しでも役立てれば」と高浜町婦人福祉協議会の方々が、子どもたちが下校した後に、校舎内の机やドア、手すり、トイレなどといった共用物の消毒作業にご協力いただいております。

感染拡大予防には、時間と手間がかかります。校舎は広く、放課後に行う子どもたちが触れる部分の消毒作業は、教職員だけでは、大変な作業でしたので、とても助かっております。高浜町婦人福祉協議会の皆様のご支援に心から感謝いたします。ありがとうございます。



新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見などの人権侵害

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加傾向にあり、学校でも緊張と不安が一気に高まってきています。報道等で耳にされているかと思いますが、コロナウイルス感染症に対する不安や恐れ、誤った知識や情報から、新型コロナウイルスに感染された方やそのご家族、濃厚接触者、治療にあたった医療機関とその関係者に対して、差別や偏見、いじめ、SNSによる根拠のない書き込み、誹謗中傷などの人権侵害が発生しています。国民が一丸となって感染の拡大に立ち向かうべきときに、こうした方々を傷付けるような不当な差別や偏見等は決してあってはなりません。感染経路が分からないケースが多数でできている状況で、今後、地域や学校で、感染者が出ることも考えられます。そうしたときに、正しい判断や行動ができるように、学校では、子どもたちに正しい知識を教えるとともに、人権教育・道徳教育等を通じて、不当な差別、偏見、いじめなどが起こらないよう指導しています。ご家庭でも、お子様に正しい知識・判断が身につくように、日ごろから、話題にしてくださいませようお願いいたします。

※子どもたちの学校生活の様子がわかるように、毎日ブログで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

《 <https://takahama-town.com/takasyo/> 》

QRコード



【学校HP】



【学校ブログ】